



Tokyo Gakugei University Repository

東京学芸大学リポジトリ

<http://ir.u-gakugei.ac.jp/>

Title	新しい特集にむけて：本校の教育実習（研究部より）(fulltext)
Author(s)	岡田,仁
Citation	教育と研究 / 東京学芸大学附属世田谷中学校(41): 4-5
Issue Date	2016-03
URL	http://hdl.handle.net/2309/146632
Publisher	東京学芸大学附属世田谷中学校
Rights	

—新しい特集にむけて—

本校の教育実習

研究部 岡田 仁

1. 2015年公開研究会

昨年の11月14日(土)本校公開研究会が行われました。筑波大附属中学校の研究会と日程が重なってしまっていたため、参会者の減少が懸念されていましたが、蓋を開けてみれば、昨年度の公開研究会を上回る300人強の参会者においていただき、盛況のうちに会を終わることができました。参会者の皆様には、協議会等で活発なご意見をいただき、誠にありがとうございました。

生徒の皆さんもご協力ありがとうございました。参会者の方々に書いていただいた感想の中で、本校の生徒が、主体的に熱心に学習に取り組んでいる姿を褒めている記述がたくさんありました。また、校内案内、説明等をしてくれた3年生の皆さんもありがとうございました。

そして、受付等していただいた総務の方他、保護者の皆様、日頃より、影、日向でご協力いただきありがとうございます。

本校ではこれからも、よりよい教育を目指して研究を進めていきますので、ご協力をよろしくお願い致します。

2. 特集「教育実習」

附属学校の担っている使命として、中学校として義務教育を行うことや教育研究の他に、教育実習があります。昨今、教育界では、先の見えない時代の中で、決まった答えのない問題に向き合い解決を図っていける人材を育成していくにはどうしたらよいかについて、いろいろな議論がなされています。そして、優れた人材の育成にはそれを担う教員を育てる教員養成の充実も大きな課題となっています。教育実習はその中でも大きな要素となります。

今回の特集のテーマは「本校の教育実習」としました。各教科の教育実習の取り組み等を紹介していきます。

3. 本校の教育実習

(1) 東京学芸大学の教育実習

本学の教育課程は、大きく教員養成系と教養系に分かれます。教員養成系の課程では教員免許の取得が必修となっています。つまり、教員免許を取らないと卒業できないということです。それに対して、教養系の学生は教員免許を取らなくても卒業できます。

教員養成系の学生は3年生のときに附属学校で3週間の教育実習を行い、4年生のときには、一般の学校で教育実習を行います。教養系の教員免許取得希望の学生は3年生のときに附属学校で3日間の授業観察（観察実習と呼んでいます）を行い、4年生のときに一般の学校で実習を行います。

(2) 本校に来る実習生の人数

さて、我が附属世田谷中学校には、どれだけの実習生が来るのでしょうか。まず、中学校教員養成課程の学生が9月の初旬から3週間の実習を行います。それから、小学校教員養成課程の学生で、中学校の教員免許の取得を希望する学生が10月初旬から2週間来ます。どちらも人数は約50人です。また、教養系の教員免許取得希望の3日間の観察実習は1月に行われています。人数は20人前後です。さらに本校の卒業生の希望者がいれば、5月に2週間の実習を受け入れています。

(3) オリエンテーション

9月の教育実習では、6月の終わり頃、10月の教育実習では9月のはじめに、それぞれ1日のオリエンテーションが行われます。そこで実習生は教育実習の心得等の指導を受け、授業を見学し、実習の前に準備しておくべきこと等の指導を受けます。そして、1～2ヶ月間実習に備

えます。

(4) 教育実習本番

いよいよ教育実習本番です。実習生はとても緊張してやってきます。はじめは本校教員の授業を見学することが多いですが、次は自分で授業を行います。しかし、1回の授業を行うのはそんなに簡単なことではありません。授業を行う前には指導案と呼ばれる授業の計画書を作成します。その指導案を基に、本校の教員と何度も検討を行い、書き直します。理科などでは予備実験も何度も行わなければなりません。1回の授業を行うまでに20時間以上を費やすことも少なくありません。そうしてやっと授業ができるのですが、それでもそんなに簡単にうまくいくものではありません。授業後は反省会が行われます。そしてその経験を次の授業に活かしていきます。

学生にとって実習の数週間は大変密度の濃い時間となります。この経験は学生達の心に深く刻まれ、将来の教師生活に大きな影響を与えることでしょう。

私は世中で長い間教育実習を見てきましたが、近頃の世中生は実習生にとっても優しいと思います。それは、とても良いことで、実習生も安心して授業を行えるのですが、ときには、実習生に難しい質問を投げかけてみるのも良いかもしれませんよ。